

燃料の備えについて



今年に入ってすでに大きな災害に見舞われています。能登半島の震災に始まり、東北地方での豪雨による災害。大きな災害になればなるほど、食料や水に加え、燃料が手に入らないということを被災地で聞きます。通常であれば、ガソリンスタンドでしか手に入らないガソリンをいかに被災地で供給することができるかを模索してきた中で仮設のガソリンスタンドを開設できるようになり、被災地での色々な活動をサポートすることができるようになりました。これからも、被災地のニーズを取り込みながら、進化させていきます。

復興のためのベースキャンプ



植能登半島の震災時には、被害が大きかったエリアではガソリンを入手することができず、金沢近郊まで戻って給油をされていた方が多くおられました。被災地近くで仮設ガソリンスタンドを開設することで復興作業を効率良く行うことができました。

移動式発電機スキーム訓練



現在当社では燃料と同時に「電気」も配送をしております。これは移動電源車のような発電機を搭載した車両を災害時に燃料と同時に配送し電源供給を行うスキームになっており、「発電機が設置ができない」、「自社に設置している発電機の長時間運転が不安」などのお客様からの相談をいただき実現いたしました。

当社はこれからもお客様のお困りごとを解決するスペシャリストとして活動いたします。

専門家に聞く

- 仮設ガソリンスタンドの開設は、非常に有効な対応です。ただ、ご存じのようにガソリンの取り扱いには資格が必要です。様々な規制がありますので、容易ではありません。有資格者が、適切な場所を事前に選定し、準備しておくことが重要です。なお、少量であればガソリンの缶詰の貯蔵という手段があります。それでも、一定期間ごとに更新が必要であり、素人の取扱いは危険ですので、専門家の支援の利用が適切だと思います。
- (関西大学社会安全学部 教授 一井 康二)
-



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階

TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235

【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地

TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら

